2019年
7月19日
発売

おでかけ中も、遊びながら楽しく学べる！

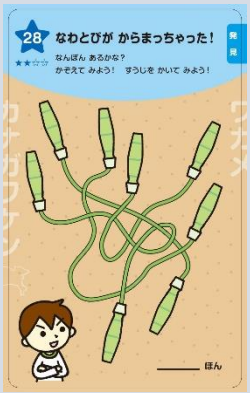
るるぶ×花まる学習会

思考力を伸ばす!おでかけ中のカードあそび150
発想力を伸ばす!おでかけ中のカードあそび150

高濱正伸・柳澤隼人／監修

1,300円＋税　JTBパブリッシング

おでかけと学びをもっと楽しく!
ガイドブック「るるぶ」とのコラボレーション商品が誕生しました。
かわいいイラストのカードには、思考力・発想力を伸ばす“あそび"が盛りだくさん!
就学前に身につけたい、7つの分野の力を、楽しみながら学ぶことができます。
コンパクトなパッケージとカードで、持ち運びも簡単。おでかけのおともにぴったりです。



＜ お問い合わせ ＞
株式会社こうゆう 花まる学習会 広報部
担当：大野　まゆ子(おおの まゆこ)
TEL：070-3350-3112
Mail：hanamaru@hanamarugroup.jp

〈ご購入はこちらから！〉
https://www.amazon.co.jp/dp/4533134912/　（思考力）
https://www.amazon.co.jp/dp/4533134920/　（発想力）

監修者・柳澤隼人　制作にこめた思い

『お出かけ中、お母さんが笑顔になるように』

長い夏休みがやってきます。幼少期を振り返ると様々な楽しい思い出が巡りますが、電車の移動は私にとって苦い思い出です。家の人と話したいが、公共の場でもあるので、静かにしなさいと言われる。弟や姉と遊び始めるとやめなさいと言われる。立っていると疲れるので座りたい、しかし座れない。しゃがむと立っていなさいと怒られる。座った時は外の景色がみたいので、後ろを向くがうまく見られない。そのため、後ろ向きに座ると靴を脱ぎなさい、行儀が悪いからやめなさいと叱られてばかり。基本的に落ち着きのない子だったので、じっとしていなければいけない時間がもどかしくて、つまらない時間でした。私はいま、これがやりたいのに、なぜ我慢しなければいけないのか、と疑問に思っていたこともたくさんあります。母親からは「あなたと一緒に電車に乗りたくない」と何度言われたことか。

近年、電車移動の親子を見ていると多くの子が親のスマホをいじるか、ゲームをしているか、YouTube を見ているか、です。お母さんとしても電子機器ではなく、絵本を読んだり、お話しをしたりして豊かな時間を過ごしてほしいと思っているでしょう。しかし、大人が触っているものに子どもが興味を持つのは当たり前ですし、コンテンツとして、受け身の楽しさを知ってしまえば、それを欲するのが子どもという生き物です。なによりも公共の場であるし、周りの目が気になる。みんながみんな理解のある大人であればいいですが、なかにはそうでない人もいます。そんな人たちから向けられる冷たい視線や聞こえる声で言われる小言に毎回耐えられるかと言われたら、難しいでしょう。それと天秤にかけ、静かにしてもらえる方を取るのは、お母さんとしては苦肉の策ですが、仕方がないのかもしれません。

電車で泣いている子ども、騒いでいる子どもたちに携帯を渡すお母さんたちの寂しいような悲しいような迷いがあるがどうしようもできない表情を救えないか。

電車の移動の時間がなにか特別な、素敵な時間にならないかなと思い、親子で集中して、楽しめるなにかを提供したいと考えました。

そう思い、今回（株）JTB パブリッシングの『るるぶ』様と共同で移動中に子どもたちと大人が一緒に遊べる持ち運びに便利なカードゲームを作成いたしました。思考力と発想力の 2 つの分野です。

カードを使って遊ぶ時のコツ（このカードに限らず、子どもの取り組みに当てはまります）があります。

①『できたこと』を褒めない→ここ重要です！
②ともに楽しむ
③たくさん会話する　の 3 つです。

①について、できたことに対して、「正解したね！」「すごいね！」という褒め方をしていると子どもたちは「楽しいからやる」から、「褒められるからやる」に変わります。つまり、褒められないとやらなくなる可能性があります。また結果を見て褒められるので、間違えてはいけない、間違えたら褒めてもらえない、と思うようになります。大事なことは自分の頭で考えること、そして考えることを楽しいと思えること。だからこそ、伝える言葉は「よく考えたね！」「楽しそうにやっているね！」がおすすめです。大事なのは自らやりたい！と思える心を育てることだからです。

②大人が楽しんでいる姿を見せるのも大事な要素です。「この問題、面白いな！」と大人が面白がると子どもたちは食いついてきます。同じ問題を互いに解き、どう考えたかを議論すると視点も増えます。

③今回のカード、特に発想力の問題は解のない問題が多くあります。だからこそ、自由な発想でかつ会話をしながら楽しめる内容にしています。子どもたちならではの発想の面白さを楽しめることが大切です。正解不正解ではなく、自分の頭で考えたことを言葉にし、会話しながら遊んでいただけると幸いです。

この夏、カードを片手に、お出かけ中に学習しながら、子どもたちが静かに集中して笑顔になり、そしてお母さんたちも笑顔にできるものになると嬉しく思います。ケガなく、たくさんの思い出を作る素敵な夏休みをお過ごしください。

花まる学習会　柳澤隼人